



等身大の自分が感じること 真っ直ぐに言葉にしたい

出会いで広がる新たな世界

DJになろう!と思ったことは一度もないんです。こんなこと言ってしまうといいのかな? (笑)。元々テレビなど映像の仕事がメインだったので、まさか自分がラジオでおしゃべりをするようになるなんて、考えたこともなかったですね。

この業界に入る前は幼児英会話の講師をしていました。そのころ知人に、モデル事務所に登録してみないかと誘われて、軽い気持ちでOKしたんです。少しずつお仕事が増えていく中、とある競馬場での仕事がつきつかけ、今の事務所のマネージャーと出会いました。その事務所に所属したあと、すぐに話がきたのはラジオDJのオーディション。まったく未知の世界で

したので、マネージャーと二人、必死で練習しました(笑)。当時、何か違うフィールドに足を踏み入れたいと思っていた私にとって、この出来事は大きな分岐点になりましたね。思わぬつながりとなり、周りの人たちに背中を押されて、ここまでできた感じですよ。

引き出しの中に心の財産を

初めて経験したラジオの仕事は、新しい自分を発見するいい機会になりました。私って、基本的に出不精なんです。引込み思案だし、消極的だし、恥ずかしい話ですが、DJになるまで一人ではおんを食へに行くこともできなかつたんです。でもこの業界で生きていくには、常に刺激を受けて、ものに敏感でなければいけない。自



慶元まさ美
Keimoto Masami

兵庫県芦屋市出身。CMモデルや企業広告VPなど映像媒体、イベントMCなどを経てラジオDJに、番組内でコーナーを持つほどの料理をはじめ、読書、映画鑑賞、茶道、ゴルフと趣味も多彩。ジュニア・ベジタブル&フルーツマイスターの資格を持つ

Keimoto Masami

分の引き出しの中に、何をどのくらい持っているかということが問われると思うんです。たとえば曲間などリスナーに向けて話をするとき、情報はもちろん、知識や感受性、自分なりの考え方を表現する言葉も必要ですよ。そう気づいてからは、一人で映画を観たり、美術館に行ったり、カフェでごはんを食べたりと、遅い「おひとりさまデビュー」しました(笑)。いろいろなものを見て、触れることで、心の財産を増やしていけるよう日頃から意識しています。

「食」の時間を豊かにする心がけ

落ち着いて自分のペースを守れるようになるまで4年くらいかかったかな、やっとな自分の好きなことが活かせるようになってきました。とくに、週一回オリジナルレシピを紹介する料理コーナーは本当に楽しい。食べること、飲むことが大好きで、好きが高じて野菜ソムリエの資格も取ったくらい。

幼いころアレルギー体質だった私は、母が毎日作ってくれる料理で体質改善できました。そんな経験から、もっと食べることを大切にしたいと思うように。旬を忘れず、カラダにいいものを、楽しく食べたい。食の時間が豊かになるよう、番組から発信できたらと思っています。

私が番組で紹介するレシピは、旬の素材を使った簡単なものが多いので、親子料理教室などのイベントもしたいですね。働くお母さんが、毎日料理をつくるのは本当に大変。私も一人暮らしなので、仕事で遅くなったら面倒臭いでもん(笑)。完璧を求めすぎないように、でも出来るだけ自分で料理をつくり、食を大切にしよう心掛けたと思います。

私がラジオの世界に入ったのは30歳を過ぎてから。「何もできない」ではなく、やるうという気持ちを持ったときに、人は変わるのだということを伝えていけたら。見て聞いて吸収したことを発信できるように、いつもフラットな自分を見失わないでいられたらと思っています。



DJ's Favorite Item

「次のレシピをピザにしようかと思っていて」と、料理本を参考。海外のお土産も料理関係の本が多いのだとか。旅行先でも料理教室に参加するほどの料理好きには、「友人たちも呆れ気味(笑)」とのこと。CDはいま注目のアーティストBei Xuのアルバム。「ハスキーな歌声がメランコリックで好き」なジャズシンガーだ。



SUNNYSIDE BALCONY

毎週月～金11:00～15:00

DJ: 慶元まさ美(月・火)、森夏子(水・木・金)

心地よい音楽とともにグルメ、カルチャー、京都の街情報などバラエティ豊かな話題を織り交ぜてお届けする昼の人気プログラム。ゲストコーナーでは、アーティストのみならず、様々な世界で活躍する「旬の人たち」を招いて音空間に彩を添えてくれる。ブログにてオリジナルレシピを公開中。

<http://www.conmigo.jp/keimoto/>